

北都鉄工、古いユニホームで途上国にワクチン届ける

クレーンや橋梁製造を手掛ける北都鉄工（石川県白山市）は、SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みの一環として、古くなった衣類の活用を始めた。自社の古いユニホームや従業員の家庭で不用になった衣類を合計 323 点回収。発展途上国にワクチンを届ける「古着 de ワクチン」というサービスを通じ、途上国に輸出する。

古着は現地で仕分けし販売されるほか、回収キットの収益の一部は途上国の子どもへのワクチン寄付に充てられるという。今後は衣類だけでなく、工場や工事現場で発生する端材など産業廃棄物も有効活用し、SDGs の取り組みを推進していく。

